

R3龍門祭 閉幕

加治木高校生徒会新聞
克己復礼の先に



第5号
2021.11.19.(金)

制作
下村将太郎

発行
第74代生徒会

- 一、R3龍門祭 閉幕
- 二、生徒会連絡板
- 三、青春の回顧録
- 四、生徒会からの挑戦状
- 五、教えて！大山先生
- 六、編集後記



十一月五日、第七十四回文化祭が開催されました。その閉会式で生徒会文化部の榎優太がお話したように、この文化祭の構想が始まったのは、昨年十一月。今年度に入り第七十四代生徒会が発足してからはさらに企画の具体化を進め、「今年度は前回(2020年度)できなかった分まで」と準備していました。

しかし、今回の文化祭は、前回よりもさらに縮小された形での実施となってしまうました。体育祭に続き文化祭まで…。生徒会にとってそうであったように、皆さんにとっても、そして開催に携わるすべての方々にとっても未練の残るものだっただろうと思います。

体育祭の準備から文化祭の開催まで約四か月間、龍門祭の開催を支えてくれた実行委員の皆さん、各役員の皆さん、部活動生の皆さん、先生方、他にも大勢いるそのすべての皆さんに、生徒会役員一同心から感謝します。

「Be the Change Be confident」
「変われ。自信を手に入れろ。」
令和三年度加治木高校龍門祭、閉幕。
(下村 将太郎)

生徒会連絡板
交通安全部
十月二十八日に、始良市の他校の生徒さんと一緒に署長さん方から交通安全啓発旗と自転車用反射板「つばさくんII」をいただきました。事故防止のために活用してください。自分の意志で自分の命を守る行動を心がけましょう！

文化部
三年生への受験応援メッセージを、文化祭リレー展示がすべて終了した後、今月二十二日から再度展示します。三年生の皆さん、共通テスト・大学入試頑張ってください！！！！

文化祭の生徒会作品「加治木町はオイシイ町!?」で紹介した三店舗からいただいた特典を掲載します。行ってみて下さい！！
お菓子の松栄堂さん
加治木高校の制服で来店するか会計時に生徒手帳を提示すればドリンク五十円引き！
Tea Stand KAKMO さん
会計時に「加治木高校の動画を見た」と言えばタピオカ増量通常五十円が無料！
カフェ Kamochaja さん
会計時に「加治木高校の動画を見た」と言えばドリンク無料！

時を戻そう 青春の回顧録

第四回 鮫島先生

先生方に青春時代のお話を伺うこのコーナー。連載第四回の今回は、国語科で一年四組担任の鮫島先生。少し前、授業中によく吟詠の声を響かせていた鮫島先生取材したのは、生徒会生活部の丸目晴可です。それでは今回もお楽しみください。



先生 鮫島 裕之
国語科 担任
一年四組 道部

丸目…今日はよろしくお願ひします。
鮫島T…よろしくお願ひします。
丸目…先生は高校時代、どんな生徒さんでしたか。
鮫島T…どんな…どんな…？

生徒会からの挑戦状

前回の答え

Facebookのロゴが青色なのは、創始者のマーク・ザッカーバーグが赤緑色覚異常という色覚異常を患っていて赤と緑がうまく認識できず、青が最も認識しやすかったため問題

子供の頃誰もが一度は聞くであろう超有名曲「ドレミの歌」。この曲の歌詞の出だしは、日本では「ドはドーナツのド」だが、原曲英語では「ドーナツ(doughnut)」ではない。では、原曲ではドは何のドと歌われるか。

丸目…例えば部活動は。
鮫島T…部活動は吹奏楽部に所属していて、一生懸命部活には取り組んでいました。先輩たちのおかげで一年生の時に九州大会に出場して、そこで色々な、今まで見たことがない世界があるんだ、と気が付きました。二年三年でも目指したんですが、あと一歩、というところで九州大会には行けず、でも金賞ばかり続いて。ちよつと最後、頑張れなかったかな、という部活動、高校生でした。

丸目…思い出とか、何かありますか。
鮫島T…思い出…
丸目&鮫島T…笑笑

鮫島T…僕は結構劣等生でした。人よりも劣っていたな、と思っていて、自分に自信がない高校生だったので、思い出がある、というよりは学校を辞めたかったです。学校に足が向かない日があつて、それは担任の先生と折り合いが合わなくて。実際、部活がなければ学校をやめようかと思つていたんですよ。そのあと二年生に上がつて担任の先生が変わつて、ようやく周りにも目が向けられるようになって、ああ友達つてすごく大切なんだな、とか、部活動と、部活動の友達のおかげで僕は学校に行けていたところもあるから、友達は大事だな、とか、そういうことを感じていました。
丸目…やっぱり友達つて大事ですよね。
鮫島T…そんな経験をしてきて、何か学んだことはありますか。

鮫島T…学んだことはたくさんあります。努力をすれば、そのとき報われないことはあるけども、大抵はいつかどこかで絶対に役に立つ。一見無駄だなと思うような努力でも、身につけた忍耐力だとか、頑張る力だとか、体力だとか、そういうものはどこかで役に立ってるな、と思います。

丸目…努力つて続けたい、いけない印象があるんですが、続けるために何かしてきたこと、意識していたことはありますか。
鮫島T…例えば部活でも、勉強でも、それぞれに目標があるでしょう。九州大会出場とか、大学入試合格とか。目標を決めたら、それに向かってできることをやる、ということですね。

丸目…では最後に、加治木高校生に向けてメッセージをお願いします。
鮫島T…今しかできないことはたくさんあるし、加治木高校生は皆素直で伸びしろもたくさんあるのだから、どんな大人になるのか僕は楽しみです。自分で考えて行動する力も持っているから、先生たちは皆を応援したい。だからいくらでも僕らを頼りたいし、皆が進みたい方向に行けるように必ず僕らもサポートするから、積極的にやりたいことをやってほしい。やりたいことが無い人は、とりあえず今、目の前のことをやっておかないと、やりたいことが見つかった時に先に進めない。目標が見つかるまでは、我慢でも何でもいいから努力すること、それを忘れないでほしいです。

教えて！大山先生！今月の名言！

るーべが写すのは
視えなかつた世界
恨みが見せるのは
墮ちてしまつた自分

大山海人

編集後記

そろそろ寒さが恨めしい季節になってきました。毎朝早くから朝補習を受け、自習に取り組んでいる加治木高校生にとっては尚のこと。これを書いてる十一月十一日、今日の気温の日較差は約八度だったそうです。地理選択の皆さんは何を言っているのか分かりますよね？—しかし、「耐雪梅花麗」。今の苦勞が一月後、一年後、二年後に実を結ぶことを思つて、とりあえず今は、目の前のことを頑張つておきましょう。

さて、今日五日に文化祭が開催され、今年度の、困難続きだった龍門祭は閉幕を迎えました。皆さんの心に少しでも特別に刻まれた時間になつていれば、生徒会としてもうれしい限りです。それから二週間が経ち、来週は一・二年生の皆さんは期末考査、三年生の皆さんは卒業考査が始まります。これが終われば、一・二年生の皆さんは十二月にはテストがあります。二年生は修学旅行が行われます。まずはここでこれまでの頑張りをしっかりとにしましょう。

返却されたテストの成績を見ると周りにはみんな自分より高くて気が重くなつてしまうこともあるかと思いますが、時には数字だけでなく、今回どれだけ自分が頑張れたか、そんなところにも目を向けてみては？

今回も、ここまで読んで下さりありがとうございます。来月は生徒会新聞2021、折り返しの第六号です。お楽しみに！(下村 将太郎)